



こんにちは 東郷まさあきです

日本共産党

ご意見・ご要望をお寄せください
野洲市比江864 (☎589-4158)

2018年3月18日 No.83



民主主義の根幹を破壊 佐川氏はもちろん。昭恵氏の証人喚問を

みなさんも驚かれたと思います。こともあろうに、森友疑惑の真相を隠すために、安倍政権が行政文書を偽造し、1年にわたって国会と国民をだましつつけていたことがあきらかになりました。民主主義の根幹を破壊する前代未聞の異常事態なんです。

昭恵氏「いい土地、前に進めて」 首相夫妻の関与を隠ぺい

財務省が作成した文書からは、安倍首相や昭恵氏の名前がすべて削除。この改ざんがおこなわれたのは、首相が「関わっていたら総理も議員もやめる」と答弁した直後から。財務省が公文書偽造という犯罪行為に手を染めたのは、首相夫妻を守るためなのか。安倍政権には真相を明らかにする責任があります。

「(改ざんの)最終責任者は佐川」(麻生大臣)―すべての責任を一官僚におしつけ、安倍首相の責任をごまかそうとするなど絶対に許されません。国民が真実を知るために、佐川氏だけでなく、昭恵氏の証人喚問を行い真相を解明すべきです。民主主義破壊の安倍内閣は総辞職以外ありません。

野洲市議会(14日)
環境経済建設委員会

農業個別所得補償制度復活求める請願否決

野洲市議会は、野洲農業を守る立場に立つべきです。なのに請願反対なんて考えられません。請願は、23日の本会議で採決されます。議員の態度が注目されます。

2本の請願は14日開催された市議会の環境経済建設常任委員会で審議されました。採決の結果、賛成した議員は共産党の工藤市議だけでした。 ○=賛成 ●=反対	工藤義明	坂口重良	鈴木市朗	岩井智恵子	荒川泰宏
農業者個別補償制度の復活を求める請願 H25年までは主要農産物に1万5000円(10a当たり)が交付されていました。これがH26年からは7500円に。さらにH30年からは廃止されます。農業経営を破壊につながる廃止をやめ、個別補償制度の復活を求める請願です。	○	●	●	●	委員長
主要農産物種子法に代わる公共品種を守る新しい法律を作ることを求める請願 「種子法」は、米麦や大豆の種子維持・発展のため、農家に安くて優良な種子を提供し、消費者には美味しい米などを安定的に供給される役割を果たしてきました。これが廃止されると、種子の価格高騰や食の安全が脅かされます。公共品種を守る新しい法律を作ることを求める請願です。	○	●	●	●	

「個別補償制度の復活を求める請願」を反対した議員は、「国が決定したこと」「復活しても農家の生活が大幅に変わることはない」と主張。相次ぐ農政の改悪のもと、野洲農業と農家を守るのが議員の役割です。請願2件の委員会否決は残念です。

切実な願いを意見書として提案します

今議会で共産党市議団は、「森友疑惑の徹底解明」「子どもの医療費負担の軽減」など市民のみなさんから寄せられた願い5件を意見書として提案をします。意見書の採択へがんばります。23日の本会議で採決されます。